



Level



Pressure



Flow



Temperature



Liquid
Analysis



Registration



Systems
Components



Services

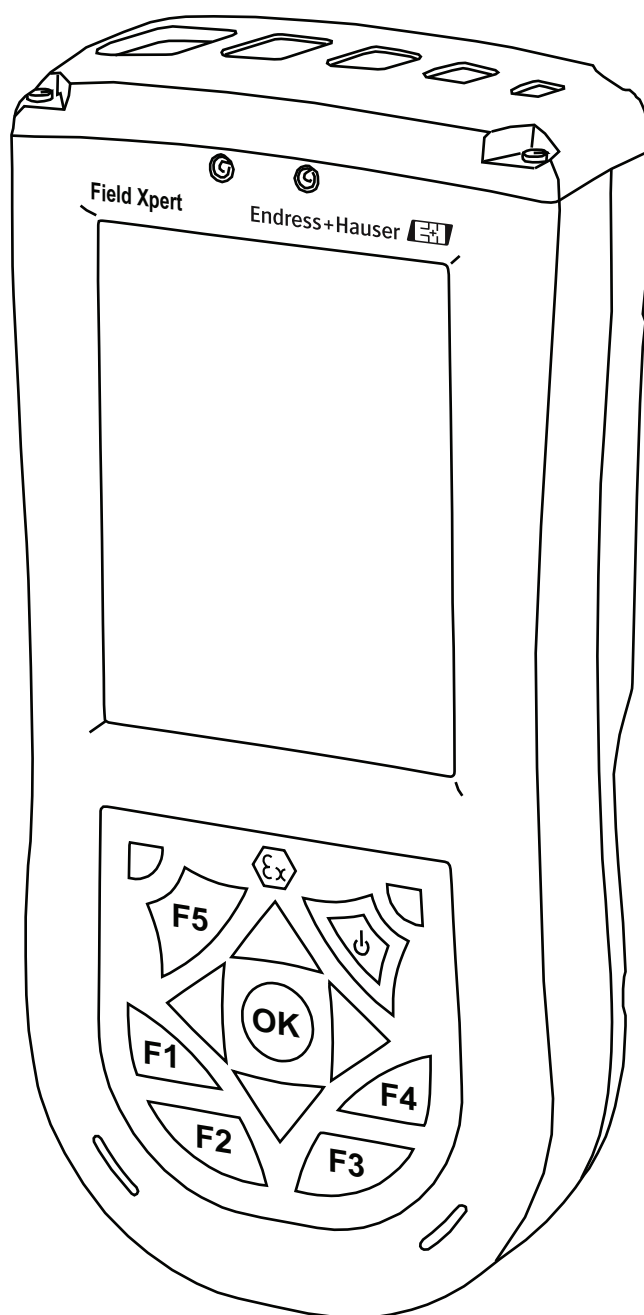


Solutions

取扱説明書

Field Xpert

デバイスコンフィギュレータ



Endress+Hauser 

People for Process Automation

エンドレスハウザー ジャパン株式会社

目次

改訂履歴	2	4	Field Xpert パッケージの設定	13
登録商標	2	4.1	VIATOR Bluetooth モデムとの接続	13
1 安全	3	4.2	Device Xpert への接続	16
1.1 指定用途	3	4.3	DD (Device Description : デバイス記述) の更新 (オプション)	19
1.2 設定と操作	3	4.3.1	USB 通信セットによる DD の更新 ...	19
1.3 運用上の安全策	3	4.3.2	Device Xpert での DD の更新	19
1.4 適合宣言	3	5	HART デバイスとの通信	20
1.5 技術上の改良	3	5.1	モデムの接続	20
1.6 規則と記号	4	5.1.1	負荷抵抗器での接続	20
2 確認作業	5	5.1.2	RN221 B での接続 (防爆バージョン) ..	20
2.1 開梱	5	6	トラブルシューティング	21
2.1.1 目視検査	5	6.1	Field Xpert のリセット	21
2.1.2 納入範囲	5	6.1.1	ソフトリセット	21
2.1.3 保管と輸送	5	6.1.2	クリーンリセット	21
2.2 機器名	6	6.2	VIATOR Bluetooth モデムの接続に関する問題	21
3 はじめに	7	7	スペアパーツ	22
3.1 Field Xpert	7			
3.1.1 Field Xpert - 概要	7			
3.1.2 Field Xpert の使用準備	8			
3.1.3 Field Xpert の電源オンオフ	8			
3.2 VIATOR Bluetooth モデム (オプション)	9			
3.2.1 VIATOR Bluetooth モデム - 概要	9			
3.2.2 VIATOR Bluetooth の使用準備	10			
3.2.3 電源ボタン	10			
3.2.4 LED ステータス	10			
3.2.5 低電圧ロックアウト	10			
3.2.6 不使用時の電源オフ	10			
3.2.7 最初の接続	11			
3.2.8 VIATOR Bluetooth インターフェースについてさらに学習する	11			
3.3 Device Xpert	12			
3.3.1 ライセンスの有効化	12			

改訂履歴

製品 バージョン	取扱説明書	変更	備考
1.00.xx	BA060S/04/en/01.08	初版	

登録商標

PROFIBUS®
PROFIBUS User Organisation (Karlsruhe Germany) の登録商標です。

FOUNDATION™ フィールドバス
Fieldbus Foundation (Austin, TX 78759, USA) の商標です。

HART®
HART Communication Foundation (Houston, USA) の登録商標です。

ActiveSync®, Microsoft®, Windows®, Windows Mobile® 5.0, Windows 2000®, Windows XP®,
Microsoft ロゴは、Microsoft Corporation の登録商標です。

MACTek®
登録商標です。

VIATOR®
登録商標です。

Bluetooth®
登録商標です。

Acrobat Reader® は、Adobe Systems Incorporated の登録商標です。

その他すべてのブランド名および製品名は、該当の会社および組織の商標または登録商標です。

1 安全

1.1 指定用途

Field Xpert は、3.5 インチタッチスクリーンを備えた Windows Mobile ベースの工業用 PDA です。HART デバイスに 1 対 1 で接続する VIATOR Bluetooth モデム（オプション）を使用した無線通信、あるいは WiFi と エンドレスハウザー社製 Fieldgate FXA520 を介した無線通信を行います。Field Xpert はまた、資産管理向けの独立した機器としてもお使いいただけます。この機器は、本書に記載されている用途のみに、エンドレスハウザー社が推奨する構成部品と併用する場合に限って使用できます。各構成部品は、必要に応じて、該当する認証を受ける必要があります。

1.2 設定と操作

Field Xpert は、本書の指示に従って接続、操作、保守を行ってください。作業には権限が必要で、適当な資格を所持している必要があります。

本製品の適切かつ安全な運転のための前提条件は、適切な輸送、正しい保管および取付け、慎重な操作および保守です。

1.3 運用上の安全策

運用環境

Field Xpert は、さまざまな動作環境に対する欧州統一規格 (EN) を満たしています。技術データに記載されている許容動作条件を遵守してください。VIATOR Bluetooth モデムは、ATEX と IS の認証を受けています。

爆発危険区域

以下の防爆区域を考慮してください：

- 防爆区域の外側での運用は、Field Xpert 非防爆バージョン
- 爆発危険区域 Zone 1 での運用は、Field Xpert Ex ATEX
- 爆発危険区域 Zone 1 での運用は、Field Xpert Ex FM
- 爆発危険区域 Zone 1 での運用は、VIATOR Bluetooth モデム

修理

Field Xpert のハウジングは開けないでください。内部には、お客様による保守が必要な部品や、修理が可能な部品は入っていません。故障や欠陥が見つかった場合は、エンドレスハウザー社に返送してください。機器のハウジングを開けた場合は、保証および防爆認証が無効になります。VIATOR Bluetooth モデムについては、後述のように電池交換のために開けることができます。

1.4 適合宣言

防爆 / 非防爆の両バージョンに対して、EC 適合宣言が発行されています。

入手方法：

- エンドレスハウザー CD-ROM (フォルダ Field Xpert/Confirmation)

1.5 技術上の改良

エンドレスハウザー社は、本体機器だけでなく、ハードウェアおよびソフトウェアに対して技術的な改良を、随時、事前の通告なしに行う権利を留保しています。かかる改良が該当機器の動作に影響を与えない場合は、それに関する文書は提出致しません。動作に影響を及ぼす場合は、通常、新しい取扱説明書を発行します。

1.6 規則と記号

本書では、安全関連の操作手順や代替操作手順を強調するために、以下の規則を採用しています。各規則に対応する記号を、隣の欄に示します。

安全に関する記号

記号	意味
	注意は、適切に行わないと動作に間接的に影響を及ぼす、あるいは機器の意図しない応答を招く可能性のある行為や手順を強調します。
	警告！ 警告は、適切に行わないと人体の損傷、または機器の不正な動作を招く恐れのある行為や手順を強調します。
	危険！ 危険は、適切に行わないと人体の損傷、安全上の問題、または機器の破損を招く行為や手順を強調します。

防爆に関する記号

記号	意味
	防爆認定機器 機器の型式銘板にこのシンボルが入っている場合は、認定書の仕様に従った爆発危険区域への設置も、安全区域への設置も可能です。
	爆発危険区域 爆発危険区域を示す図面に使用されるシンボル。“爆発危険区域”指定の領域に配置する機器や敷設する配線は、規定された保護等級に適合している必要があります。
	安全区域 (爆発の危険のない区域) 必要に応じて、爆発危険区域を示す図面に使用されるシンボル。安全区域に配置する機器でも、出力側が爆発危険区域内にある場合は認証が必要です。

電気に関する記号

記号	意味
	直流電圧 直流の電流または電圧がかかる、あるいは供給される端子です。
	交流電圧 交流（正弦波）の電流または電圧がかかる、あるいは供給される端子です。
	接地端子 操作者に関する限り、接地システムによってすでに接地されている接地端子のことです。
	保護用接地線接続 機器に他の接続を行う前に大地に接続する必要がある端子です。
	等電位接続 (アース結合) プラントの接地点に行われる接続です。国家または社内の慣例に従った中性点接地や等電位線などのタイプのものにすることができます。

2 確認作業

2.1 開梱

2.1.1 目視検査

開梱時：

- パッケージの外観上の輸送による損傷の有無をチェックします。
- 開梱時の損傷を防ぐために、梱包材は慎重に取り除いてください。
- 納入時の梱包材は、後で機器を輸送する場合に備えて保管しておいてください。
- 付属の取扱説明書は、大切に保管してください。

内容物に何らかの損傷が見られた場合は、機器を稼働させずに、エンドレスハウザー営業所にお問い合わせください。返送が必要になった場合、可能であれば納入時の梱包材で梱包してご返送ください。

2.1.2 納入範囲

機器の設定を行う前に、必ず納品内容が一式揃っていること、損傷していないことをチェックしてください。納品範囲：

- Field Xpert
- 充電器 LG x 10
- スタイラスセット（ペン 2 本、機器の裏面）
- 取扱説明書（”はじめに”と安全注意事項を含む）
- エンドレスハウザー CD-ROM（アプリケーションソフトウェア）
- ヒューレットパッカード社「Getting Started」CD（ポケット PC 取扱説明書、ActiveSync 4.x 以降、Microsoft Outlook を含む）

オプション：

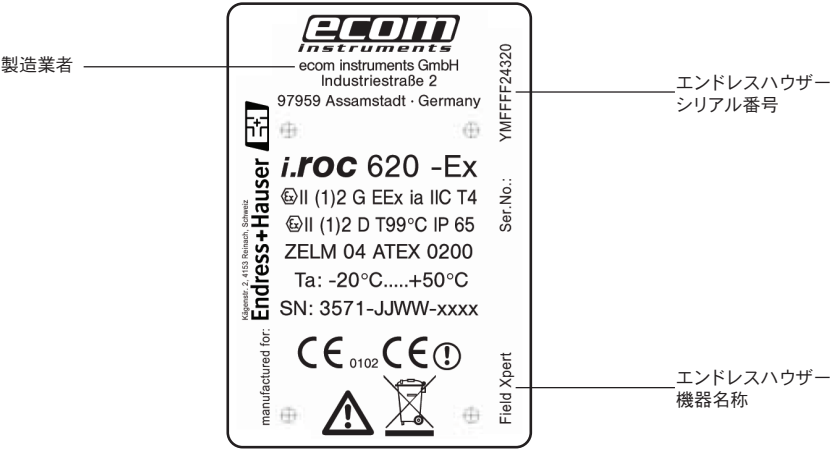
- VIATOR Bluetooth モデム（HART フィールド機器と共に使用、単 4 形アルカリ電池 3 本含む）
- USB x 11 データ伝送セット（ボックス 1 個、ケーブル 2 本）
- 革製キャリーケース（ストラップおよびスタイラス 1 本付き）

2.1.3 保管と輸送

Field Xpert 本体は丈夫に作られていますが、その部品の中には、激しい振動や衝撃には弱いものがあります。このため、Field Xpert は、過度の機械的な負荷から保護する必要があります。

2.2 機器名

機器名およびシリアル番号は、型式銘板（ハウジングの裏面）に記載されています。



機器タイプは、下表を使用して製品コードから調べることができます。

SFX100 Field Xpert SFX100						
SFX100	認可					
	A	非防爆区域				
	B	ATEX Zone 1/21				
	C	FM Class 1 Div 1				
	Y	特殊バージョン、要指定				
	アプリケーションソフトウェア					
	A1	Device Xpert、英語版				
	A2	Device Xpert、ドイツ語版				
	通信インターフェース					
	H1	HART プロトコル -VIATOR Bluetooth モデム				
	XX	使用しない				
	オペレーティングシステムの言語					
	1	英語				
	2	ドイツ語				
	DD 更新契約 (2 年)					
	A	選択				
	X	使用しない				
	USB データ伝送セット					
	A	選択 (IR が使用不可の場合)				
	X	使用しない				
	革製キャリーケース					
	A	選択				
	X	使用しない				
SFX100						

3 はじめに

3.1 Field Xpert

エンドレスハウザー社製の Field Xpert は、Windows Mobile ベースの高性能工業用 PDA です。コンパクトで、ワイヤレス LAN、USB、Bluetooth、および 赤外線（IrDa）の各ポートが搭載されています。Field Xpert は、防爆区域の内外で稼動するプロセス産業の要件を満たしています（各種防爆認定書付き）。

3.1.1 Field Xpert – 概要

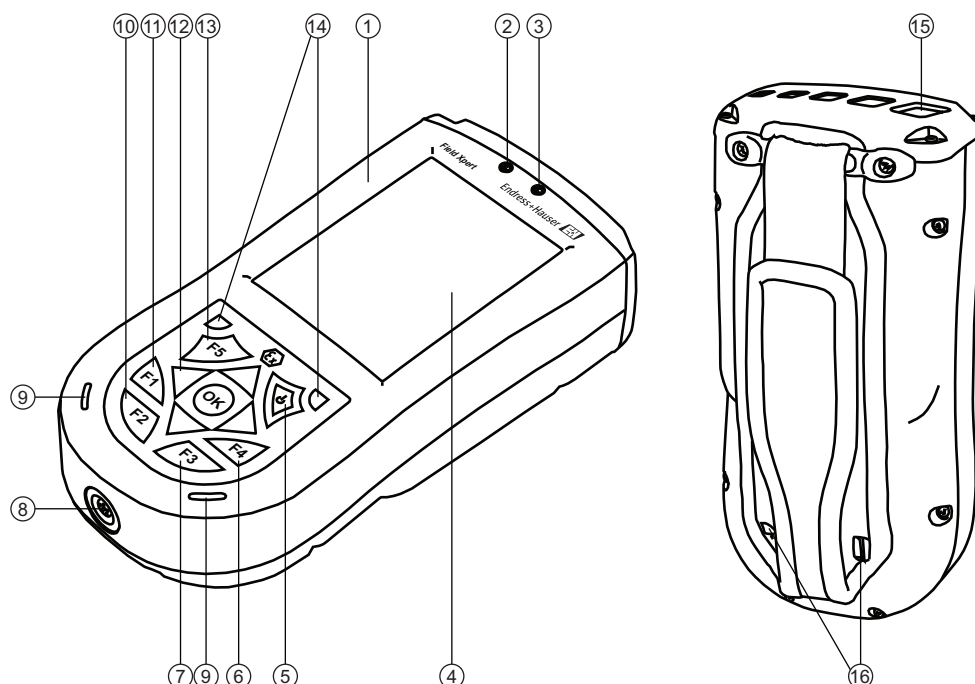


図 3-1: 前面と背面のパネル構成部品

- | | |
|---|--|
| 1 ハウジング | 9 スピーカーとマイクロホン |
| 2 無線 / 通知 LED インジケータ
消灯 = WiFi、Bluetooth 共にオフ
青色点滅 = WiFi および / または Bluetooth が
オン
緑色点滅 = 通知イベントが発生している | 10 F2 ボタン (HP 表示 : コンタクトボタン)
HP プロテクトツールの開始は、2 秒間押した
ままにする |
| 3 充電 LED インジケータ
消灯 = 充電なし
赤色点滅 = 充電中
赤色点灯 = 充電完了 | 11 F1 ボタン (HP 表示 : カレンダーボタン)
縦横のモード切り替えは、2 秒間押したまま
にする |
| 4 タッチスクリーン | 12 5 ウェイナビゲーションボタン、リストをス
クロールするか押して選択する (ジョイス
ティックと同じ操作方法) |
| 5 電源ボタン (オン / オフ) | 13 F5 ボタン
Device Xpert 設定ソフトウェアの開始 |
| 6 F4 ボタン (HP 表示 : iTask ボタン) | 14 2 つのリセットボタン、ソフトリセット用 |
| 7 F3 ボタン (HP 表示 : メッセージボタン)
iPAQ ワイヤレス開始は、2 秒間押したままに
する | 15 IrDa Infrared ポート |
| 8 5 ピン充電プラグ (USB コネクタ、電源充電器
を使用した場合に限り作動) | 16 スタイラススロット × 2 |

3.1.2 Field Xpert の使用準備



警告

- Field Xpert は、必ず満充電してから USB ケーブルでコンピュータに接続してください。充電せずに接続すると、機器が損傷する恐れがあります。

- Field Xpert のバッテリーパックを完全に充電します。
充電方法には、以下の 2 つがあります。

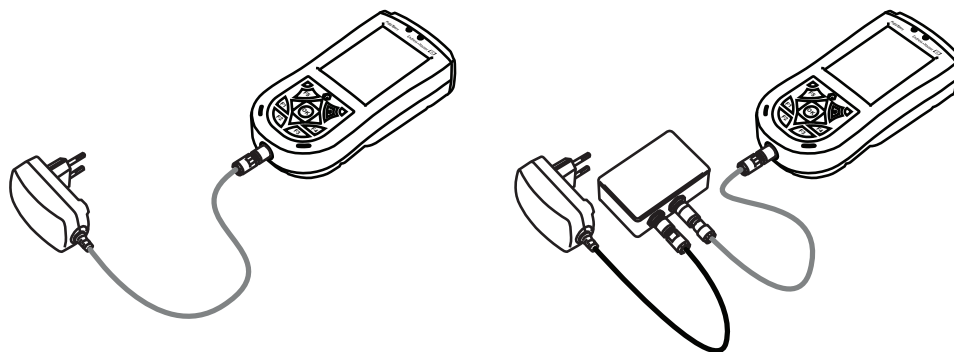


図 3-2: 充電器を直接接続または USB 接続セットを使用

- バッテリーパックが完全に充電されるまでお待ちください（赤色 LED が点灯します）。

3.1.3 Field Xpert の電源オンオフ

- 電源ボタンを押すと、Field Xpert の電源がオンになります。
- 電源ボタンを約 3 秒間押すと、Field Xpert の電源がオフになります。

3.2 VIATOR Bluetooth モデム（オプション）

VIATOR Bluetooth モデムは、HART 対応のフィールド機器に一時的に接続するための 1 対 1 通信インターフェースです。主に設定管理ツールとして使用します。爆発危険区域に対する認可を受けており、交換可能な電池により約 20 時間動作します。このモデムは、Bluetooth を経由して Field Xpert と通信します。モデム自体をケーブルで HART フィールド機器に物理的に取り付けます。第 5 章を参照してください。

VIATOR Bluetooth モデムは、最大通信距離 100 メートルのクラス 1 Bluetooth 無線を備えています。ただし、Field Xpert はクラス 2 Bluetooth アダプタを使用しているため、無線範囲は 10 メートルに制限されます。無線範囲は、2.4 GHz ISM バンド転送を行う機器が周囲にある場合、その干渉により通信距離が短くなる可能性があります。こういった干渉源には、コードレス電話や無線ネットワーク機器、電子レンジなどがあり、Bluetooth 接続の確立を妨げ、HART ネットワークのメッセージ再試行の原因となることもあります。

3.2.1 VIATOR Bluetooth モデム - 概要

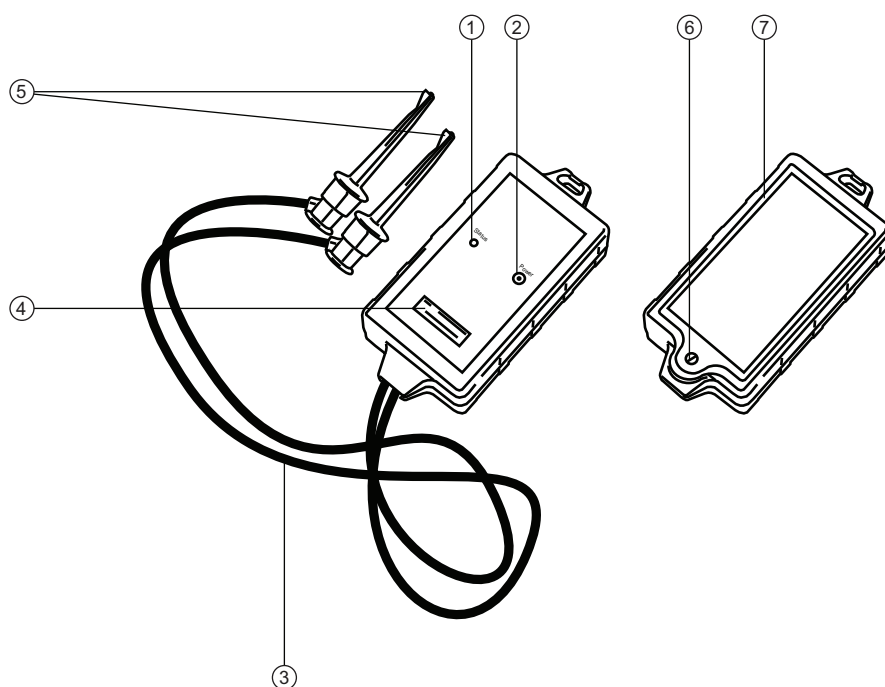


図 3-3: ケーブル付きモデム

- 1 ステータス LED
- 2 電源ボタン
- 3 ケーブル
- 4 シリアル番号と MAC アドレス
- 5 試験クリップ
- 6 電池室用止めねじ
- 7 電池室（カバー）

3.2.2 VIATOR Bluetooth の使用準備

- 1 VIATOR Bluetooth モデムには単 4 型アルカリ電池が 3 本必要です。電池は付属しています。この電池を、VIATOR Bluetooth モデムの電池室のねじを緩めて挿入します。
- 2 電池のプラス極とマイナス極に注意して正しくセットしてください。
- 3 電池室のカバーを閉じてねじを締めます。



注意！

- 電池を節約するために、モデムを使用しないときは電源をオフしておくことをお勧めします。

3.2.3 電源ボタン

- 電源ボタンを押してすぐ放すと、モデムの電源がオンになります。この動作は、緑色 LED が一旦点灯してから点滅する（本機器がオンしたことを示す）ことによって確認できます。モデムの電源がオンになると、自動的に Bluetooth 機能がアクティブになります。
- 電源ボタンを約 2 秒間押すと、モデムの電源がオフになります。ボタンを押している間は緑色 LED が点灯し、ボタンを放すと LED 表示と本機器の電源がオフになります。

3.2.4 LED ステータス

- モデムがオンになっている状態で電源ボタンを押してすぐに放すと、電池残量が表示されます。
 - 4 回点滅 = 電池残量 80% 以上
 - 3 回点滅 = 電池残量 50% 以上
 - 2 回点滅 = 電池残量 30% 以上
 - 1 回点滅 = 電池残量 10% 以上
 - 点滅なし = 電池残量 10% 未満
- 直ちに電池を交換することをお勧めします。

3.2.5 低電圧ロックアウト

電池電圧が停止電圧 2.8 V を下回ると、モデムの電源が直ちに自動で切れます。電池を交換してください。



警告

- モデムの電源が自動的に切れた場合、電池の交換後に再送信を行って、交換前の最後の操作が機器に転送されていることを再度確認してください。

3.2.6 不使用時の電源オフ

VIATOR Bluetooth モデムは、Bluetooth 接続がない状態で 30 分経過すると、電池を節約するために電源が切れます。この場合、使用時には電源ボタンを押してモデムの電源をオンする必要があります。

3.2.7 最初の接続

VIATOR Bluetooth モデムは、標準 Bluetooth SPP (Serial Port Profile : シリアルポートプロファイル) を使用します。このプロファイルは、ほとんどの Bluetooth ホストでサポートされています。SPP を使用すると、仮想シリアル COM ポートが生成されます。これにより、このインターフェースを、従来の内蔵シリアル COM ポートと同様に HART の適用分野で使用することができます。

VIATOR Bluetooth モデムには、“MACTekVIATORXXXX” というフォーマットで予め Bluetooth 機器名が設定されています。“XXXX” は Bluetooth MAC アドレス下 4 桁の 16 進数を表します。Bluetooth MAC アドレスは、フロントラベルのシリアル番号の上に印刷されています。この名前を使用して、動作中の Bluetooth 環境で正しい機器を選択します。Bluetooth モデムを最初に接続する場合は、PIN コードを使用して接続を確立する必要があります。

PIN コード : mactek (すべて小文字)

Bluetooth スタックの多くは、最初に VIATOR Bluetooth モデムへの SPP 接続を確立するときに、2 つの COM ポート (着信と発信) を作成します。発信 COM ポート番号は、Device Xpert で使用されます。この接続のセットアップを行うのは、最初に VIATOR モデムを使用するときだけで、Field Xpert に PIN コードと COM ポート番号が記憶されます。

3.2.8 VIATOR Bluetooth インターフェースについてさらに学習する

内容	参照先
VIATOR Bluetooth インターフェースの使用	- MAKTec 製品サイト www.mactekcorp.com

3.3 Device Xpert

Field Xpert には、Device Xpert、またはその他のソフトウェアツールが同梱されています。

本書は、設定ソフトウェアツール Device Xpert に関するものです。エンドレスハウザー社の Device Xpert は、工業用途向けの完備された HART 通信機器として Field Xpert をサポートしています。



注意！

- Device Xpert の使用方法については、オンラインヘルプを参照してください。

3.3.1 ライセンスの有効化

Field Xpert は、Device Xpert 設定ソフトウェアのライセンスを有効化した状態で納入されます。このライセンスを維持、または更新するには、以下の説明に従ってください。

USB 通信セットによる ライセンスの有効化

- USB 通信セットによるライセンスの有効化を行うには、設定済みの ActiveSync が必要です。使用する PC に ActiveSync がインストールされていることをチェックしてください。インストールされていない場合は、HP CD-ROM を使用して ActiveSync をインストールします。
- Field Xpert の USB ケーブルを PC の USB ソケットに接続します。
- ActiveSync を開始します。

Device Xpert での ライセンスの有効化

以下のステップにはインターフェースによる違いはありません。すべてのインターフェースに対して有効です。

- Device Xpert を起動します。
- Help をクリックします。
- フォームの項目をすべて入力して、ライセンスを有効にします。
シリアル番号は、Field Xpert 上と、CD カバーのステッカに印字されています。
- “Activate”；有効化または “Refresh”；更新をクリックして、ライセンスを取得、または更新します。

4 Field Xpert パッケージの設定

ご注文内容に応じて、Field Xpert パッケージには以下のものが含まれています。

- Field Xpert 工業用 PDA (+ 付属品)
- VIATOR Bluetooth モデム
- Device Xpert 設定ソフトウェア

4.1 VIATOR Bluetooth モデムとの接続

- 機器への接続については、第 5 章を参照してください。
- 電源ボタンを押してすぐ放すと、モデムの電源がオンになります。この動作は、緑色 LED が一旦点灯してから点滅する（本機器がオンしたことを示す）ことによって確認できます。モデムの電源がオンになると、自動的に Bluetooth 機能がアクティブになります。モデムの LED が説明どおり反応しない場合は、“3.2.4 LED ステータス”の章を参照してください。
- 電源ボタンを短い間押すと、Field Xpert の電源がオンになります。
- 次に、iPAQ Wireless 機能を開始することによって、Field Xpert の Bluetooth 機能を有効にします。



図 4-1: スクリーンショット - iPAQ Wireless

- Bluetooth アイコンをクリックして、Bluetooth を有効にします。この有効化は、Bluetooth アイコンの色が緑色に変化することで示されます。Field Xpert の LED の場合は青色に点滅します。

- Bluetooth Manager を選択すると、Bluetooth インターフェースの画面が開きます。
“New”；新規を選択して新しい接続を作成します。選択リストが開きます。

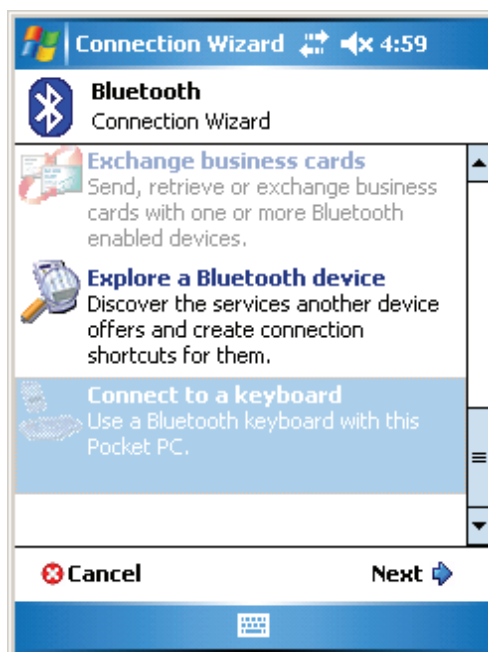


図 4-2: スクリーンショット - 選択リスト

- 下方にスクロールし、“Explore a Bluetooth device”；Bluetooth 機器の検索を選択します。
使用可能な Bluetooth 機器がすべて表示された画面が開きます。



図 4-3: スクリーンショット - 使用可能な Bluetooth 機器

- “MACTekVia...” (MACTek VIATOR Bluetooth モデム) を選択します。設定画面が開きます。

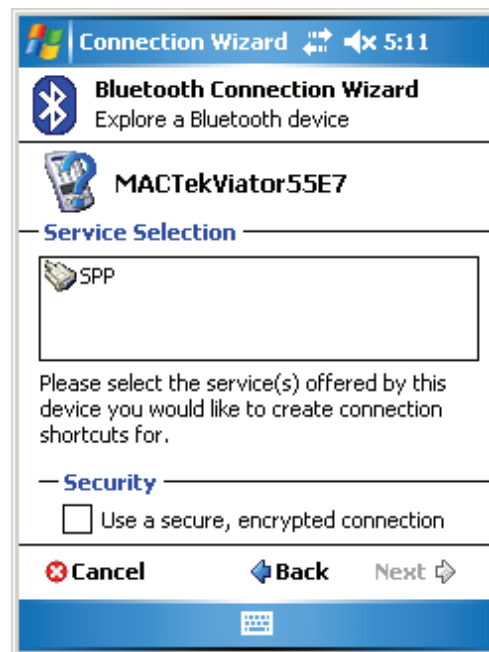


図 4-4: スクリーンショット - MAKTek モデム

- “Service Selection” ; サービスの選択で “SPP” を選択し、“Next” ; 次へをクリックします。
- 次の画面で、“Finish” ; 終了をクリックします。
- これで、モデムを “My Shortcuts” ; マイショートカットで使用できるようになります。

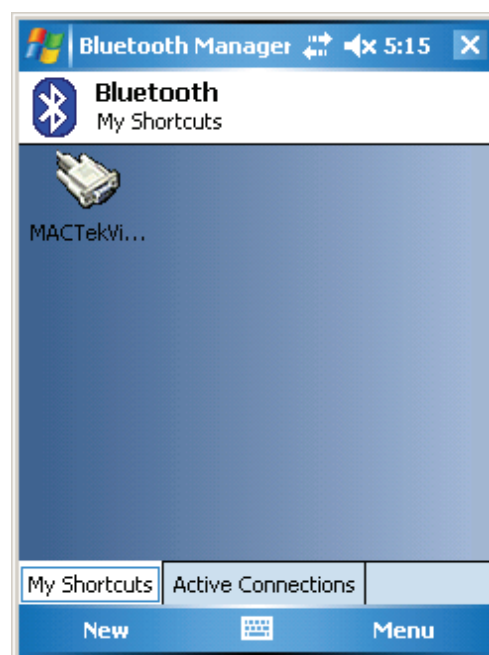


図 4-5: スクリーンショット - マイショートカット

- Bluetooth Manager を閉じます。

4.2 Device Xpert への接続

- Device Xpert 設定ソフトウェアを起動し、“View”；表示、“Configuration”；設定を選択します。

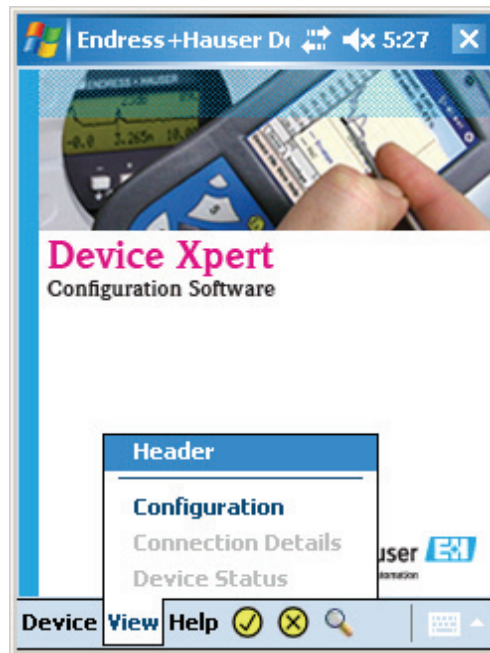


図 4-6: スクリーンショット – Device Xpert 設定

- 次に、“Add connection”；接続の追加を選択すると、設定画面が開きます。分かりやすい接続名を付け、下記に示すように設定を選択します。
- Bluetooth 接続の場合でも、“Serial”；シリアルを選択してください。
- アドレスの範囲は、機器に応じて設定することができます。
アドレスが不明な場合は、0 ～ 15 のままにしておくことをお勧めします。

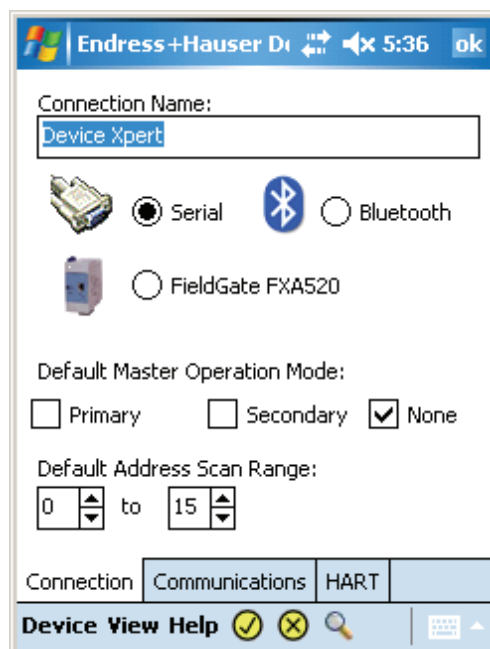


図 4-7: スクリーンショット – Bluetooth モデムの設定

- “Communications”；通信で “Locate Port”；ポートの検索をクリックします。
- デフォルトのポートは “COM8” です。ドロップダウンリストで直接 “COM8” に移動し、選択することもできます。

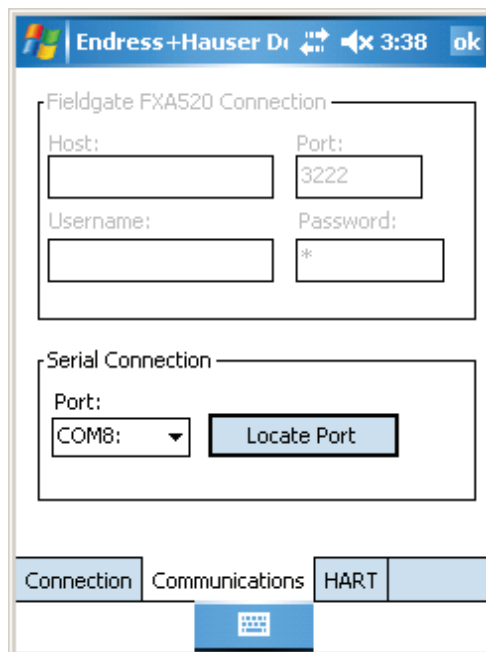


図 4-8: スクリーンショット - Bluetooth モデムの設定

- ドロップダウンリストから接続を選択し、“Scan”；スキャンをクリックします。接続されている機器のリストが表示されます。

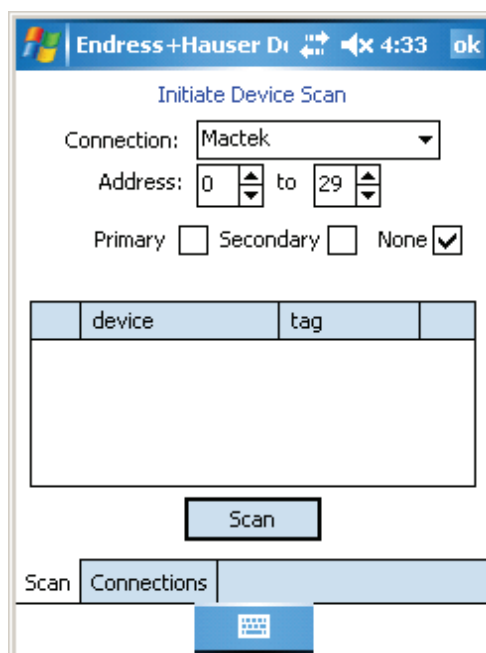


図 4-9: スクリーンショット - 接続の選択

- 本機器をクリックして、設定を開始します。
- パスワードを入力する必要がある場合は、第 3.2.7 章を参照してください。

**注意！**

- 本機器の設定方法の詳細については、Device Xpert 設定ソフトウェアのオンラインヘルプ、または対応する機器の操作マニュアルを参照してください。

- “HART”レジスタで、プリアンプルとリトライを変更することができます。デフォルトの設定を使用することをお勧めします。
- “Remember Scan List”; スキャンリストの保存を選択することができます。同じ環境で何度も作業する場合、この機能を使用することをお勧めします。
- この通信をセットアップした後、ソフトウェアの起動に戻るまで、すべてのウィンドウを閉じておきます。
- 本機器に接続するには、“Device”; デバイスを選択してから “Scan”; スキャンを選択します。



図 4-10: スクリーンショット – デバイススキャン

4.3 DD (Device Description : デバイス記述) の更新 (オプション)

DD の更新はオプションです。お使いのバージョンでは利用できない場合でも、後から注文することができます。各地域のエンドレスハウザー営業所にお問い合わせください。

4.3.1 USB 通信セットによる DD の更新

- USB 通信セットによる DD 更新を行うには、ActiveSync が必要です。
使用する PC に ActiveSync がインストールされていることをチェックしてください。
インストールされていない場合は、HP CD-ROM を使用して ActiveSync をインストールします。
- Field Xpert の USB ケーブルを PC の USB ソケットに接続します。
- ActiveSync を開始します。

4.3.2 Device Xpert での DD の更新

以下のステップにはインターフェースによる違いはありません。すべてのインターフェースに対して有効です。

- Device Xpert を起動します。
- "Device" ; デバイスを選択して、"Synchronize Library" ; ライブラリの同期を選択します。



図 4-11: スクリーンショット - ライブラリの同期

- 同期は、クリック後自動的に開始します。DD サーバへの接続が確立され、最新のデバイス記述がダウンロードされます。
- この処理は、"Close" ; 閉じるをクリックして終了したときに確定されます。

5 HART デバイスとの通信

5.1 モデムの接続

Field Xpert は、VIATOR Bluetooth モデムを経由して HART デバイスと通信します。Field Xpert からモデムへの通信は無線です。モデムと HART デバイスを接続する場合、以下の方法があります。

5.1.1 負荷抵抗器での接続

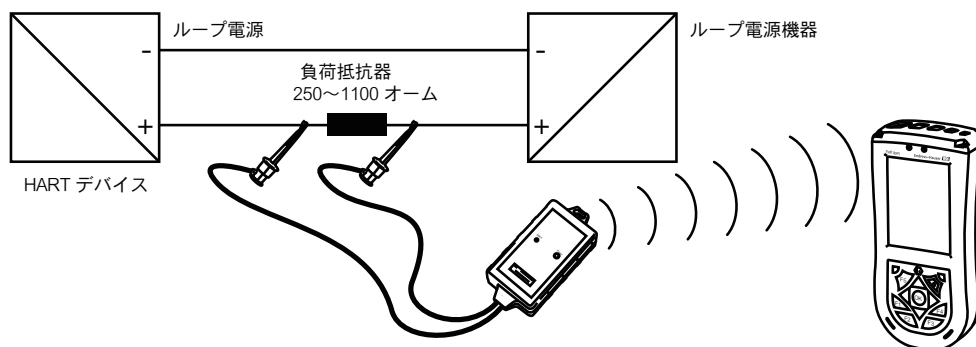


図 5-1: 負荷抵抗器での接続

5.1.2 RN221 B での接続（防爆バージョン）

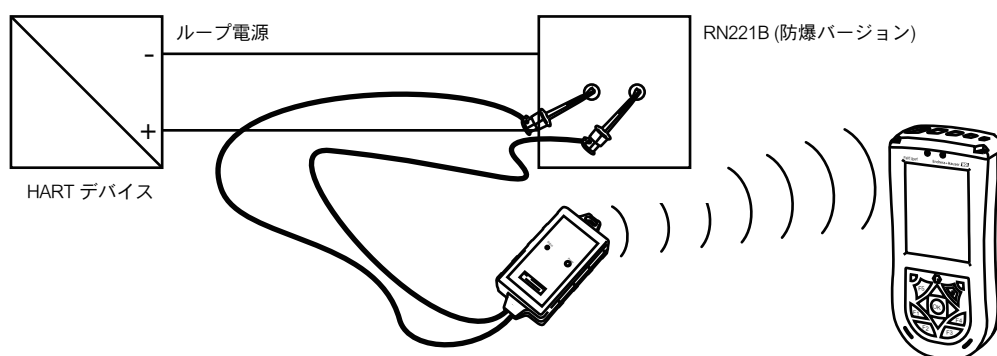


図 5-2: RN221 B での接続（防爆バージョン）

6 トラブルシューティング

当社のハードウェアおよびソフトウェアは、原則としてトラブルを起こさず動作するようになっています。ここでは、万が一トラブルが生じた場合の解決策について説明します。

6.1 Field Xpert のリセット

Field Xpert の電源をオフして再度オンすることができます。この操作により、問題を解決できる場合があります。それでも問題が解消されない場合は、以下の例を参照してください。

6.1.1 ソフトリセット

ソフトリセットでは、すべての動作中のアプリケーションが停止されますが、プログラムや保存データは消去されません。保存していないデータは、ソフトリセットを実行する前に、動作中のアプリケーションで必ず保存するようにしてください。

- ソフトリセットを実行するには、キーパッドの 2 つのリセットボタンを押します。
- Field Xpert が再起動し、Today 画面が表示されます。

6.1.2 クリーンリセット



警告

- クリーンリセットでは、すべてのユーザー固有の設定、アプリケーション、および本機器のデータがクリアされます。Field Xpert をクリーンリセットする前に、データをすべて保存していることを確認してください。
- クリーンリセットを実行するには、F1 と F3 と電源ボタンを押したままの状態で、
- リセットボタンを約 2 秒間押します。
- Field Xpert が再起動したら、まず F1、F3、電源ボタンを放してから、リセットボタンを放します。
- Field Xpert がリセットされ、電源がオンになります。
- 画面上の指示に従ってください。たとえば、タッチスクリーンを校正します。
- USB 通信セットによる Device Xpert の再インストールを行うには、設定済みの ActiveSync が必要です。
使用する PC に ActiveSync がインストールされていることをチェックしてください。
インストールされていない場合は、HP CD-ROM を使用して ActiveSync をインストールします。
- Field Xpert の USB ケーブルを PC の USB ソケットに接続します。
- ActiveSync を開始します。
- Device Xpert をエンドレスハウザー社 CD-ROM からインストールします。

6.2 VIATOR Bluetooth モデムの接続に関する問題

接続に問題がある場合は、以下の手順を試してください。

- すべての HART アプリケーションを終了する
- VIATOR Bluetooth モデムの電源をオフする
- 10 秒待機する
- VIATOR Bluetooth モデムの電源をオンする
- 10 秒待機する
- HART アプリケーションを起動し、COM ポートを開いてみる

7 スペアパーツ

Field Xpert には以下のスペアパーツが用意されています。必要に応じて、エンドレスハウザー社にご注文ください。

- マルチ充電器
- スタイラスセット（ペン 2 本）
- モデム / インターフェース
- USB 通信セット
- 革製キャリーケース（ストラップおよびスタイラス付き）

●機器調整（新規調整、再調整、故障）不適合に関するお問い合わせ
サービス部ヘルプデスク課
〒183-0036 府中市日新町 5-70-3
Tel. 042(314)1919 Fax. 042(314)1941

■仙台サービス
〒980-0011 仙台市青葉区上杉 2-5-12 今野ビル
Tel. 022(265)2262 Fax. 022(265)8678

■新潟サービス
〒950-0951 新潟市鳥屋野 3-14-13 マルティビル 3F
Tel. 025(285)0611 Fax. 025(284)0611

■千葉サービス
〒290-0054 千葉県市原市五井中央東 1-15-24 斉藤ビル
Tel. 0436(23)4601 Fax. 0436(21)9364

■東京サービス
〒183-0036 府中市日新町 5-70-3
Tel. 042(314)1912 Fax. 042(314)1941

■横浜サービス
〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川 2-8-8 第1川島ビル
Tel. 045(441)5701 Fax. 045(441)5702

■名古屋サービス
〒463-0088 名古屋市守山区鳥神町 88
Tel. 052(795)0221 Fax. 052(795)0440

■大阪サービス
〒564-0042 吹田市穂波町 26-4
Tel. 06(6389)8511 Fax. 06(6389)8182

■水島サービス
〒712-8061 岡山県倉敷市神田 1-5-5
Tel. 086(445)0611 Fax. 086(448)1464

■徳山サービス
〒746-0028 山口県周南市港町 1-48 三戸ビル
Tel. 0834(64)0611 Fax. 0834(64)1755

■小倉サービス
〒802-0971 北九州市小倉南区守恒本町 3-7-6
Tel. 093(963)2822 Fax. 093(963)2832

■計量器製造業登録工場 ■特定建設業認定工場許可（電気工事業、電気通信工事業）

Endress+Hauser 
People for Process Automation

エンドレスハウザー ジャパン株式会社